



World Karate Federation General Secretary Office News Letter vol.4

Edition May 26th, 2015

ヨーロッパにおいて 積極的な空手道アピール

「ヨーロッパスポーツの夕べ」

WKF本部から、空手道のオリンピック正式種目採用を目指した実に積極的なキャンペーン活動のレポートが届きました。

5月6日(水)、ヨーロッパオリンピック委員会等が主催する「ヨーロッパスポーツの夕べ」(ベルギー)にて、空手道が演武を披露しました。WKFオリンピック・パラリンピック担当委員会のウォルフガング・ワイガート委員長(ドイツ)の尽力によるものです。ワイガート氏は元警察官という経歴を持つ実直な男性で、昨年WKFドイツ世界大会の主催にあたってはドイツ空手道連盟会長として陣頭指揮を取り、大会を成功に導きました。人脈も幅広く、WKF理事会の中核をなす人物です。

「夕べ」には主要人物が多数来場しました。欧州議会議長のマルティン・シュルツ氏、アゼルバイジャン・スポーツ省のアザド・ラヒモブ大臣、そしてヨーロッパオリンピック委員会のパトリック・ヒッキー委員長、そしてIOC選手委員会のクラウディア・ボケル委員長です。ヒッキー氏、ボケル氏はIOC EB(常任理事)であり、IOCにおいて意思決定権を持つ方々に空手道を実際に見ていただく絶好のチャンスでした。

拍手喝采 空手道の演武

さて、空手道の演武では2014年世界障が



(左からエスピノス会長、ボケル委員、ワイガート氏)

い者空手道選手権大会・車いす部門準優勝のデルレイ選手(ベルギー)や、男子個人形で世界大会準優勝のイリヤ選手(ドイツ)と彼のコーチ、ショルツ氏が形や約束組手を披露し、会場はしばらくのあいだ拍手喝采となりました。

エスピノス会長も「オリンピック正式種目採用を目指す我々にとって非常に重要な一歩となった」とコメントしており、主要人物たちに空手道を強く印象づけることに成功しました。

出張スケジュール

6月3日(水)～7日(日) 香港
東アジアシニアおよびジュニア&カデット
空手道選手権大会

6月10日(水)～15日(月) アゼルバイジャン バクー
第1回ヨーロッパゲームズ
エスピノス会長、全空連の笹川会長と共に、IOC
バッハ会長を訪問いたします。

6月25日(木)～27日(土) 韓国
コリア・オープン

世界空手連盟 事務総長事務所

〒135-8538 東京都江東区辰巳1-1-20 日本空手道会館
電話 03-3522-6673 FAX 03-3522-6675 kobinata@wkf-gs.jp